

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社力ネ力）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			就業規則において差別禁止を明文化し、採用や処遇において個人の能力に基づいた公正な判断を徹底している。定期的な個別面談等を通じて、不当な差別がないか確認する体制を整えている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			経営層が定期的に個別面談の時間を設けるほか、随時相談を受け付ける体制を整えており、従業員が不安や問題を1人で抱え込まず、迅速に対応・解決できる環境づくりに努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			現在はExcelを用いて全従業員の労働時間を把握し、適切な労務管理を行っている。特に有給休暇の管理を徹底し、取得推奨日を設けるなど休暇を取得しやすい環境を整備している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			現在は雇用実績がないが、雇用する際は国籍による差別を行わず、人権を尊重することを方針として掲げている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			定期的に保安講習会に参加し、社内で内容を共有している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			全従業員を対象とした定期的な健康診断を実施。日々のコミュニケーションを重視し、体調や悩みについて気軽に相談できるフラットな組織環境を維持している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			年齢や性別に関わらず活躍できるように、家庭の事情（育児・介護等）に合わせた柔軟な勤務体制を運用。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			必要な資格取得費用の全額補助や、外部研修への参加を奨励。個々のスキルアップを支援し、専門性を高める機会を提供している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働同一賃金の原則に基づき、雇用形態に関わらず職務内容や能力に応じた公正な給与体系を運用。定期的な昇給・賞与の査定において評価基準を明確にしている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			全従業員の健康診断受診率100%を維持し、身体的な健康管理を徹底している。また、地域の「ウォーキングクラブ」に社員全員で参加するなど、社内全体で楽しみながら運動習慣を身につける活動を推進。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			ガス工事等で発生する廃材について、専門業者への委託による適正処理を徹底している。また、事務所のペーパーレス化を推進し、紙ゴミの削減に取り組んでいる。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			事務所内の電気・水道使用量、および配送車両の燃料使用量を定期的に記録し、社内のエネルギー消費動向を把握している。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			自社で行う灯油配送や営業・集金業務において、時間やエリアを分けたルート最適化を実施。走行距離を短縮し、燃費良く効率的に配達できるように努めている								7.2 7.3				12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			LPガスや灯油の保安管理を徹底し、漏洩事故防止のための定期点検を実施。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			会社周辺の定期的な清掃活動や、工事現場における廃材の適正な処理を徹底し、地域の自然環境の保護に配慮している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			工事で発生した金属屑の分別回収と再資源化を徹底している。また、社内資料の裏紙をメモ用紙として使用している。												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			事務所内および現場での節水を徹底。水資源の無駄を省く意識を全社員で共有している。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			事務所内の照明を全面的にLEDへ更新し、電気使用量の大幅な削減を実現した。また、電気ボット等の家電製品についても、使用時のみ稼働させる「節電の徹底」を全社員で実践。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			InstagramやLINE等のSNSを活用し、地域の環境・防災に関する情報を定期的に発信。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			配送・営業ルートの効率化により、化石燃料の消費を最小限に抑制している。また、社内で利用する紙は再生紙を利用するよう務めている。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			全社員に対し、透明性の高い公正な取引を行うよう定期的に注意喚起を実施している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			適正な価格設定と公正な営業活動を徹底し、市場の健全な競争を維持している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			他社の著作権や商標権を尊重し、適正な利用を徹底。自社の営業秘密やチャシ等の独自制作物についても適切に管理・保護を行っている。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			お客様の個人情報が記載された書類や台帳は、事務所内の指定された保管場所で適切に管理し、外部への持ち出しを厳禁している。また、不要になった個人情報を含む書類については、シュレッダーによる裁断廃棄を徹底し、情報の復元が不可能な状態で処理を行っている。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			自社の主力事業である燃料販売および設備工事において、紛争鉱物を直接原材料として取り扱うことはありません。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	取引先との共存共栄を目指し、公正な取引慣行を維持しています。現在、「パートナーシップ構築宣言」の公表に向けて準備を進めており、下請代金支払遅延等防止法の遵守や、無理な短納期発注の抑制など、持続可能な関係構築を推進する。			3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			法令に基づく4年に1度の定期保安点検に加え、緊急時24時間対応体制を整備している。			3.9									12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			丁寧な施工を第一に、安全かつ確実な工事を提供している。工事完了後も、定期的な訪問や対話を通じて「お困りごとはないか」「機器の調子はどうか」といったきめ細やかなアフターフォローを実施。お客様とのコミュニケーションを絶やさないことで、万が一の不具合にも迅速に対応し、長期間にわたって安心して設備をお使いいただける品質管理体制を維持している。									9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）									6						12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			地域のインフラを支える企業として、日々の配送や営業車両の安全運転を徹底し、地域の交通安全に配慮している。また、事務所周辺や現場周辺の定期的な清掃活動を実施し、地域的美観維持に努めている。				4					9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）							4								11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）											8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 （必須）		【予定】	経営理念「みんなを幸せにする会社になります」とSDGsの目標を紐づけた方針を作成し、社内会議や掲示を通じて全従業員に共有する。個々の業務が社会貢献に繋がっていることの意識付けを行う。								8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			毎年開催する経営計画発表会において、代表取締役自ら全従業員に対し、エネルギーインフラおよび危険物を取り扱う企業としての法令遵守の重要性を直接発信している。																16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）		【予定】	SDGs推進担当を設置し、各部門の業務改善や環境対策、DX推進を統括する。地域密着企業の強みを活かし、現場の課題を迅速に経営判断に反映できる体制を整える。																16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			顧客からの要望やフィードバックを定期的に収集し、事業改善に反映。																16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）																				16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）																				16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）												9		11		13 13.1				16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）											8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定